

日本スピリチュアルケア学会
 人材養成プログラム認定
 1. 基礎データ

認定年度: 2014年度

| | |
|----------------------|---|
| 組織名(和文) *必須 | 東北大学大学院文学研究科 臨床宗教師・スピリチュアルケア師教育プログラム |
| 組織名(英文) *任意 | Interfaith Chaplain and Spiritual Care Provider Education Program, Graduate School of Arts and Letters, Tohoku University |
| 代表者氏名 | 高橋 原 |
| 事務担当者氏名 | 谷山 洋三 |
| 組織所在地 | 仙台市青葉区川内27-1 E-mail: j-shukyo@g-mail.tohoku-university.jp |
| 設立年 | 2012年 |
| 沿革 | 2012年4月 東北大学大学院文学研究科に 実践宗教学寄附講座が開設される 2012年10月～11月 第1回臨床宗教師研修開催 (宗教者限定、以後、2017年度まで年2回開講) 2013年8月 資格認定コース開始(研修修了者対象) 2014年9月 JSSC教育プログラム認定 2017年4月～18年3月 履修証明プログラム「臨床宗教教養 講座(第1期)」開講(非宗教者も受講可) 2017年7月 資格認定集中コース開始(研修修了者対象) 2017年10月～12月 第12回臨床宗教師研修開催 2018年4月～19年3月 履修証明プログラム「臨床宗教教養 講座(第2期)」「臨床宗教実践講座(第1期)」開講 2019年4月 東北大学大学院文学研究科に 死生学・実践宗教学専攻分野が開設される |
| 組織の目的、ミッション・ステートメント等 | 「臨床宗教師」は、公共的な役割を果たす「宗教的ケア」の専門家である。この研修は、宗教者としての全存在をかけて人々の苦悩や悲嘆に向き合い、そこから感じ取られるケア対象者の宗教性を尊重し、公共空間で実践可能な「宗教的ケア」を学ぶことを目的とする。そのために次の四点を習得することを目指す。 ①「傾聴」と「スピリチュアルケア」の能力向上 ②「宗教間対話」「宗教協力」の能力向上 ③宗教者以外の諸機関との連携方法を学ぶ ④幅広い「宗教的ケア」の提供方法を学ぶ |

2. 教育担当者一覧

1) グループワーク、スーパーヴィジョン、演習 等担当者

| | 氏名 NAME | 就任年 | 主担当科目(2科目まで) |
|----|---------------------------|-------|----------------|
| 1 | 谷山 洋三 Taniyama Yozo | 2012年 | 会話記録 ロールプレイ |
| 2 | 森田 敬史 Morita Takafumi | 2012年 | 会話記録 ロールプレイ |
| 3 | 金田 諦應 Kaneta Taio | 2012年 | 実習指導 |
| 4 | 高橋 悦堂 Takahashi Etsudo | 2012年 | 会話記録 ロールプレイ |
| 5 | 大村 哲夫 Ohmura Tetsuo | 2013年 | 会話記録 ロールプレイ |
| 6 | 緒方 宏明 Ogata Hiroaki | 2013年 | 会話記録 |
| 7 | 立野 泰博 Tateno Yasuhiro | 2013年 | 会話記録 |
| 8 | 眞如 晃人 Shinnyo Akihito | 2015年 | 会話記録 ロールプレイ |
| 9 | 吉田 弥生 Yoshida Yayoi | 2016年 | 会話記録 ロールプレイ |
| 10 | 木村 登紀子 Kimura Tokiko | 2019年 | 会話記録 ロールプレイ |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |

2) 講義科目等 担当者

| | 氏 名 NAME | 就任年 | 主担当科目(2科目まで) |
|----|---------------------------|-------|-----------------------|
| 1 | 高橋 原 Takahashi Hara | 2012年 | 実践宗教学 スピリチュアリティ論 |
| 2 | 木村 敏明 Kimura Toshiaki | 2012年 | 宗教間対話 |
| 3 | 谷山 洋三 Taniyama Yozo | 2012年 | スピリチュアルケア論 グリーフケア論 |
| 4 | 鈴木 岩弓 Suzuki Iwayumi | 2012年 | 民間信仰論 スピリチュアリティ論 |
| 5 | 大村 哲夫 Ohmura Tetsuo | 2013年 | グリーフケア論 臨床死生学 |
| 6 | 金田 諦應 Kaneta Taio | 2012年 | ケアと人権 |
| 7 | 森田 敬史 Morita Takafumi | 2012年 | 臨床宗教師の社会実装 |
| 8 | 高橋 悦堂 Takahashi Etsudo | 2012年 | 臨床宗教師の社会実装 |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |

3. 人材養成教育領域 充当表

| 時間 | 科目名 | 他団体から借入科目の場合は提供団体名 |
|--------------------------------------|--|---|
| ＜基礎領域＞ | | |
| 36 時間 | 思想・宗教・伝統・文化 | 日本を中心としつつ、広く人類の思想・宗教・伝統・文化に関する基礎的な知識を持つと同時に、その中におけるケア提供者自身を基盤づけているスピリチュアリティの位置づけと特徴についての深い理解に繋がる教育。特に、ケアの基礎となる、共同体と個人との関係について、その変遷や潜在的な可能性への洞察力を養う教育。 |
| 6 15 15 | 東北大学履修証明プログラム「宗教学死生学入門」 東北大学履修証明プログラム「宗教学Ⅰ（宗教と民俗、現代社会）」 東北大学履修証明プログラム「死生学Ⅰ（死から生を学ぶ）」 | (履修証明プログラム受講者は、以下より36時間以上履修) |
| 22.5 22.5 22.5 22.5 | 東北大学大学院文学研究科「広域文化学総合科目ⅠまたはⅡ」 東北大学大学院文学研究科開講の宗教学系科目 東北大学大学院文学研究科開講の哲学系科目 東北大学大学院文学研究科「人文社会科学研究（死から生を学ぶ）」 | (大学院生は、以下より45時間以上履修) |
| 36 時間 | 心理・力動・援助 | 個人の成長に関わる個人因子と環境因子への理解、対人関係における社会学的心理学的メカニズムの理解、援助関係における「権力」構造の理解のための教育。社会構築、言語と解釈、非指示的療法、傾聴、パターンリズム、自立・自律、投影、転移・逆転移等の基本概念の教育。 |
| 15 15 10 | 東北大学履修証明プログラム「実践宗教学Ⅰ（宗教と社会福祉）」 東北大学履修証明プログラム「実践宗教学Ⅱ（臨床宗教師の実践報告）」 東北大学履修証明プログラム「臨床宗教実践論Ⅰ～Ⅹ（ケアの力動、セルフケアなど）」 | (履修証明プログラム受講者は、以下より40時間以上履修) |
| 22.5 22.5 22.5 22.5 22.5 | 東北大学大学院文学研究科「総合人間学総合科目ⅠまたはⅡ」 東北大学大学院文学研究科開講の心理学系科目 東北大学大学院文学研究科開講の倫理学系科目 東北大学大学院文学研究科開講の社会学系科目 東北大学大学院文学研究科「人文社会科学研究（実践宗教学試論）」 | (大学院生は、以下より45時間以上履修) |

＜専門領域 A＞

| | | |
|---------------------|---------------------------------|--|
| スピリチュアリティ論 24 時間 | | 思想・宗教・伝統・文化の歴史性・多様性に基づく、スピリチュアリティの体系的教育 |
| 15 | 東北大学履修証明プログラム「宗教学Ⅱ（宗教と悲嘆）」 | <p align="center">（履修証明プログラム受講者は、以下より30時間以上履修）</p> <p align="right">（大学院生は、以下より45時間以上履修）</p> |
| 15 | 東北大学履修証明プログラム「宗教心理学（スピリチュアリティ）」 | |
| 22.5 | 東北大学大学院文学研究科「死生学特論Ⅰ」 | |
| 22.5 | 東北大学大学院文学研究科「死生学特論Ⅱ」 | |
| 22.5 | 東北大学大学院文学研究科「死生学特論Ⅲ」 | |

| | | |
|---------------------|----------------------------------|--|
| スピリチュアルケア論 24 時間 | | 援助者・対象者間のスピリチュアリティの力動に基づく、ケアの体系的教育 |
| 15 | 東北大学履修証明プログラム「応用死生学Ⅰ（グリーフケア）」 | <p align="center">（履修証明プログラム受講者は、以下より30時間以上履修）</p> <p align="right">（大学院生は、以下より45時間以上履修）</p> |
| 15 | 東北大学履修証明プログラム「応用死生学Ⅱ（スピリチュアルケア）」 | |
| 22.5 | 東北大学大学院文学研究科「実践宗教学特論Ⅰ」 | |
| 22.5 | 東北大学大学院文学研究科「実践宗教学特論Ⅱ」 | |
| 22.5 | 東北大学大学院文学研究科「人文社会科学研究（グリーフケア）」 | |

＜専門領域 B＞

| | | |
|-------------------------|---|--|
| グループワーク | | 心理およびスピリチュアリティの次元でおこる、自己および他者の内的力動と対人的力動を体験的に理解し、効果的にケアを提供できる能力を養う教育 |
| 臨床スーパービジョン 60/120 時間 | | スピリチュアルニーズを理解しケアする臨床力を、個人スーパービジョンならびにグループスーパービジョンをとおして育成する教育 |
| 15 | 東北大学履修証明プログラム「死生学Ⅱ（死生観ワークショップ）」 | <p align="center">（履修証明プログラム受講者は、以下より70時間以上履修）</p> |
| 15 | 東北大学履修証明プログラム「応用死生学Ⅲ（傾聴ワークショップ）」 | |
| 30 | 東北大学履修証明プログラム「臨床宗教演習Ⅰ～Ⅴ（ロールプレイ、会話記録検討など）」 | |
| 5 | 東北大学履修証明プログラム「臨床宗教演習Ⅵ～Ⅸ（自己課題、個人面談など）」 | |
| 5 | 東北大学履修証明プログラム「臨床宗教演習Ⅹ（スピリチュアルワーク）」 | |

| | |
|--|---|
| 30 | (大学院生は、以下より60時間以上履修) 東北大学大学院文学研究科「応用死生学研究実習Ⅲ」(修士1年前期履修) |
| 30 | 東北大学大学院文学研究科「応用死生学研究実習Ⅳ」(修士1年後期履修) |
| 30 | (臨床スピリチュアルケア師有資格者は、以下より60時間以上履修) 東北大学大学院文学研究科「応用死生学研究実習Ⅲ」 |
| 30 | 東北大学大学院文学研究科「応用死生学研究実習Ⅳ」 |
| 臨床実習 120/240 時間 | |
| スピリチュアルケアが求められる医療・福祉・教育・産業その他の、臨床現場におけるチームケアに参加する。 | |
| 116 | (履修証明プログラム受講者は、以下より120時間以上履修) 臨床宗教実習Ⅰ～Ⅱ(医療福祉機関での傾聴実習) |
| 4 | 臨床宗教実習Ⅲ(カフェデモンクでの傾聴実習) |
| 2 | 臨床宗教実習Ⅳ(追悼巡礼) |
| 60 | (大学院生は、以下より120時間以上履修) 東北大学大学院文学研究科「応用死生学研究実習Ⅰ」(修士1年前期履修) |
| 60 | 東北大学大学院文学研究科「応用死生学研究実習Ⅱ」(修士1年後期履修) |
| 60 | (臨床スピリチュアルケア師有資格者は、以下より120時間以上履修) 東北大学大学院文学研究科「応用死生学研究実習Ⅰ」 |
| 60 | 東北大学大学院文学研究科「応用死生学研究実習Ⅱ」 |
| 〈専門領域C〉 ※参考記載 | |
| スピリチュリティの涵養 | |
| 援助者各自のスピリチュアリティを育成する教育 | |
| 3 | 臨床宗教師会等での特別講習会 |
| 3 | 臨床宗教師会等でのフォローアップ研修 |
| 3 | スピリチュアルケア師のためのフォローアップ研修 |
| 継続教育 | |
| 臨床活動を行う援助者を継続的にサポートし専門性を維持するための教育 | |
| 3 | 臨床宗教師会等でのフォローアップ研修 |
| 3 | スピリチュアルケア師のためのフォローアップ研修 |